

学校だより  
7月号

つなしま



【学校教育目標】 共に創り 共に歩み 共に輝く

令和8年6月25日  
横浜市立綱島小学校



ホームページもご覧ください。

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsunashima/>

かがやびと  
**輝き人** …※

副校長 中里 充

「ちょっと、そっち持ってくれる？」「いいよー。」

「そのまま下に置いて…。」

ホテルの部屋で、シーツを敷く一コマです。

6月4日(木)・5日(金)の二日間、5年生と共に箱根宿泊体験学習に行ってきました。初めての宿泊体験のため、自分で布団にシーツを敷くのは初めてという子も多かったのですが、「ねえ、手伝って。」とか「一緒にやろう！」と声を掛け合って協力して寝る準備をしたり、翌日も一緒に片付けたりしました。自然に協力する姿が素敵で、輝いていました。



また、キャンプファイヤーでは、実行委員が大きな声で運営を頑張りました。ダンスやゲームで全員が一つになり、特に「ジンギスカン」のダンスでの盛り上がりは最高潮でした。一つのファイヤーを囲んで、学年が一つになる姿は、全員が『輝き人』となっていました。そしてキャンプファイヤー実行委員だけでなく、式・しおりや、バスレク等の実行委員、室長や班長、美化や保健等の係と、それぞれが自分の役割を果たそうと目を輝かせていました。

さらに、箱根彫刻の森美術館でお弁当を食べた後や、ホテルでの寄木細工体験の後片付けでは、自分が落としたものでなくても進んでゴミを拾ったり片付けたりする様子もありました。ホテルでの食事の片付けでは、使った箸の向きをそろえたり食器を丁寧に重ねたりと、給食の片付けが身につけている証で、この姿もきらきら輝いて見えました。

もちろんきらきら輝く場面ばかりではありません。相手に思いがうまく伝わらなかったり、言い方が適切でなかったり、自己中心的だったりすることでグループ内で衝突することもありました。それらの経験から相手の気持ちや、どうすればよかったのかを考え、次に生かすことで互いの成長へとつながります。この経験を経て成長するのも『輝き人』といえるのではないのでしょうか。

先日の宮ヶ瀬ダム見学で、係の方のお話を一生懸命にメモを取りながら真剣な表情で聞いた4年生も『輝き人』です。教室移動で静かに廊下を歩く6年生の姿も他学年に範を示す『輝き人』です。他にもたくさん輝く姿があります。これからも多くの子どもたちが『輝き人』となり、共に教職員も『輝き人』となるよう努めて参ります。

※本校の学校教育目標「共に創り 共に歩み 共に輝く」と、8チャンネルの朝の情報番組内の『キラビト』を参考にした表現です。綱島小学校のオフィシャルではありませんが、家庭と地域と学校が子どもを真ん中にして、共に輝いていきたいという想いを込めて巻頭言に著しました。